

Q ヤングケアラーへの負担軽減策は

A 家事や育児支援に無料でヘルパーを派遣する

高草木良江

Q HPVワクチンの積極的勧奨再開になり、4月から従来のワクチンより高い感染予防効果がある9価ワクチンが定期接種に加わるが情報提供と周知方法は。

A 保健福祉部長 対象者に9価HPVワクチンの最新情報提供も含めて、ホームページや広報、LINEの活用など広く周知をしたい。

Q 前に、ヤングケアラーへの負担軽減のために、ヘルパーの無料派遣事業について事例を挙げて質問したが。

A 保健福祉部長 令和5年度新規事業でヤングケアラー支援事業の実施を予定している。家事や育児支援に無料でヘルパーを派遣し、

子どもたちの負担が軽減されて学業に専念しながら、子どもらしい生活が送れることが目的となっている。

Q 市内にインクルーシブ公園の設置についての構想は。

A 市長 全体的な公園広場の整備計画の中で、障害がある方もない方も一緒に遊べるインクルーシブ公園は、市民にとって必要な部分なので、西鹿田やボートレース場のパーク構想の中でも意識をして進めていきたい。

高草木 今後、市内の既存の公園施設の中でも検討を。

Q 子どもや若者が社会や市へ意見を表明し、施策に反映できるよう、議場を使つての議会体験も重要では。

A 市長 子どもや若者が市政を身近に感じ、地域に関心を持ってもらうには大変重要な取

組である。いい提案なので検討していきたい。

高草木 是非進めていただきたい。

Q 新設カタクリの湯が完成して使用可能になった時、高齢者への入浴費補助や移送サービスへの見解は。

A 保健福祉部長 老人憩の家の入浴機能は新設の温泉施設に統合されることを踏まえ、高齢者の交通アクセス面を配慮し、当面の間代替え移送を行う。入浴補助は、高齢者福祉施策全体の見直しとあわせて次年度から着手していく。

高草木 高齢者に喜んでいただけるような補助を。

Q 避難場となる体育館へのエアコン整備の計画は。

A 市長 拠点避難所のエアコンの整備は完了している。

地球温暖化による真夏の暑さ対策として、体育館へのエアコン設置は大きな課題。今後は拠点避難所の追加指定など避難場の環境整備の充実強化を図っていききたい。